

どこからくるの？このまちの水

# 池田市 上下水道部

池田町（現在の池田市）で水道の給水が始まってから今年で80年。私たちは日常のあらゆる営みに水を使って生きている。6月1日から7日までの第60回水道週間に先がけて、池田市の水を守る『池田市上下水道部』を取材した。

## 池田市をめぐる水の道



いつでも水を使えるのはいつも見守る人がいるから

「古江浄水場」は全国でも珍しい階層式浄水場。地上4階・地下2階建ての施設で水道水をつくっている。「中央管理室では川の水の異常を見張り、市内にある配水池の水量を管理しています」と話すのは浄水課長の杉本さん。雨の日は川の水量が増えたり、よく晴れた日は川の消費量が減えたりと、常に状況は変化する。それに応じて必要な薬品量や市内に分

配する水量を決めるのが仕事のひとつだ。安全性は約200項目の水質検査で確認され、ようやく「飲める水」が完成する。

「池田市下水処理場」では汚水から砂や泥を取り除いたあと、反応タンクにいる微生物に汚れを食べさせ、浄化した水を川に戻している。下水処理場長の村島さんは「苦労するのは突発的に何かが流れてきた時」と話す。たとえば何らかの事故で大量の油が流れてくると、微生物の数が減って処理能力が落ちてしまう。反

応タンクに達する前に異常を捉え、微生物に影響がおよばない運用を心がけているという。

どちらの施設にも管理のためにコンピュータが導入されているが、まだまだ人間の知識や経験による判断が必要となる現場。職員たちは昼夜交代で24時間、池田市の水を守っている。

## 上下水道の裏舞台をのぞいてみよう

生きる上で欠かせない水は、時に暮らしをおびやかすこともある。災害に対処するのも「池田市上下水道部」の仕事だ。大雨で市内に浸水が発生すれば土のうを持って被害の現場に駆けつける。大地震で上下水道に障害が起きた場合は早期復旧できるように、震災時の指揮系統を定めているという。「当たり前」のものを当たり前に見えるよう戻すのが私たちの業務です」と村島さんは語る。

上下水道はあって当たり前もの。しかし過去の災害に学びながらつくり上げられた現在の上下水道の仕組みは、決して当たり前ではないと感じた。水を使う時や流す時、その先に水を支える人々がいることを覚えておきたい。

「古江浄水場」「池田市下水処理場」では小学校の社会見学を受け入れているほか、年に一度は一般市民向けのイベントを開催している。どんな処理を経て安全な水ができるのか、ぜひ知ってほしい。杉本さん、社会見学として足を運んでみてはいかがだろうか。

## 毎日使っている水はどこから来てどこへ行く？

「蛇口をひねれば水が出るように」という言い回しがある。「ごく当たり前に」の意味だ。朝一番に水が飲めるのも、夜中に水洗トイレを流せるのも、現代では普通のこと。水の出どころや行く先を意識する機会はあまりない。それは私たちが当たり前、水道がどれだけ日常に溶け込んでいるかを表している。

そんな「当たり前」を、24時間365日守るのが「池田市上下水道部」だ。池田市には川の水から水道水をつくる「古江浄水場」、市内各所に水を届ける8つの配水池や配水場、そして使った水をきれいに浄化し川に戻す「池田市下水処理場」がある。処理する水の量は、晴れた日の「池田市下水処理場」で1日4万5千立方メートルにもなるというから驚きだ。

## イベント情報

### 第60回水道週間 古江浄水場 見学会

全国に数カ所しかない階層式浄水場を見学できる、年に一度の一般開放。水道水ができる仕組みを体験しよう。



普段めったに入れない浄水場。親子連れに人気がある

**日時** 6月3日(日)  
9:00~13:00  
(受付時間 8:45~12:00)  
※雨天決行  
※上履きを持参のこと

**場所** 古江浄水場  
(池田市古江町160)  
※最急バス「木部」バス停より徒歩5分  
※駐車場あり



はしご車で上空からの景色を眺めよう

## 関連イベント

- 水道水をつくってみよう ~体験型水質実験~
- 水道の仕事体験 ~水道管を使った水でっぽうづくり~
- 浄水場見学ツアー
- 「池田市消防本部」コラボイベント  
「はしご車に乗ろう!」など

※開催は12:00まで ※小学生以上対象 ※雨天中止  
タイムスケジュールなど詳細は  
<http://www.ikedashi-suido.jp>

## 取材協力

### 池田市上下水道部 (経営企画課)

池田市大和町1-10  
TEL/072-754-6069  
※経営や広報、ホームページに関する問い合わせはこちらへ

### マンホールカード配布場所

池田市観光案内所  
池田市満寿美町2-7  
営業/9:00~16:30  
定休/毎週火曜日  
(祝日の場合は翌日)  
年末年始

## 下を向いて歩こう

### 池田市のマンホール蓋

身近な下水道設備といえばマンホール。池田市には数種類のマンホール蓋があり、下水道の広報活動も担っている。たまには下を向いて、道端のマンホールに注目してみよう。

### マンホールカード配布中



自治体のマンホール蓋を解説したコレクションカード。現在全国に340種以上あり、池田市版は「池田市観光案内所」で無料配布中だ。北摂では他に豊中市、箕面市、吹田市、高槻市、能勢町、島本町も参加している

池田市を象徴する鳥や花木を表現



無着色バージョンもあります



全国初! 犯罪防止啓発マンホール



### 「五月動物園」とのコラボで誕生



阪急池田駅近くの五月動物園とのコラボで誕生したマンホール蓋のデザインもご紹介中